



「碁的」編集長 岩本真理子さんのデザインユニット「MA∞YA(マ-ヤ)」主催による
コラボワークショップ「フラワー×カメラ×碁」(2010年6月)
花冠のつくりかた その作品を上手に撮影するカメラテクニックに加え、碁教室も開催
「碁的」の王唯任(おうゆいにん)四段による指導で「碁ガール」のたまごが増えました
「IGO AMIGO」の王唯任(おうゆいにん)四段による指導で「碁ガール」のたまごが増えました



ダイヤモンド碁サロンでは 初心者の入門レッスンから
インストラクターによる指導まで会員のニーズに合わせ幅広く対応

オセロ大会の決勝で男子中学生に負けて大泣きする6歳の少女。その姿を見たご両親が稲葉さんを10歳で碁のプロ養成所へ、しかしプロになるには18歳までという厳しい年齢制限があり高校時代に挫折。転機となったのは23歳のとき、テレビ碁番組の司会者として抜擢され碁の世界へ戻ることになる。

その後、碁インストラクターとして活躍する一方で、碁サロンの開設運営を機に、若い人たちにも碁を広げようという活動を展開。最近では20〜30代に碁を広める「IGO AMIGO」というグループとタッグを組み、おしゃれな碁をアピール。雑誌『碁的』の発刊や多彩なイベントづくりのサポートに尽力し、昨今話題になっている「碁ガール」とい

碁を若い世代に広げたい 広く深く 対一で「絆」を生む世界

ダイヤモンド碁サロン
碁インストラクター 稲葉 緑子さん



う言葉の生まれる背景ともなっている。「碁の教えは、大局観、先を読む力、独創性です。部分を捨てて全体を見る、広い碁盤から状況を深く読み取る。これを仕事に生かしたいというキャリアアウマンも多く、対局後はリフレッシュして帰られます。」また、対人勝負の碁の魅力を稲葉さんはこう語る。「碁の別称を「手談」と言いますが、これは着手の一つ一つには意味があり会話をするということ。一局打つだけで相手と繋がりが親しくなれるし、対一での頭脳と知力の対決から強い絆も生まれます。」

碁は4000年の昔、中国に生まれ、日本でも碁盤が正倉院の御物にもなるという長い時間軸を持ち、世界80ヶ国で愛好されるといふ広い空間軸をも持つ伝統文化。世界選手権では国際交流の役割も果たしている。近年、高等教育機関が碁を高く評価し、東京大学や早稲田大学、慶應義塾大学では、カリキュラムに碁が導入されている。

「昔の教育の基本は『琴棋書画』といい、琴が音楽、棋は碁、書が書道、画が絵を描くことでしたが、いま碁だけが抜けられています。負けた悔しさを味わう、負けた者をいたわる、それも碁の世界です。情操教育の一環としてぜひ取り入れて欲しいですね。」さらに、「今の夢は千代田区界隈を碁の街にすること。」と稲葉さんの想いはいつそう熱くふくらんでいる。



平日の夜 仕事帰りの女性会員で賑わう
お酒を飲みながらも碁を打つ目は真剣



まるでカフェのような おしゃれな雰囲気
ANAインターコンチネンタルホテル東京 碁サロン「Ranca」(稲葉さん運営)



白と黒だけじゃない
色鮮やかなクリスタル碁盤セット



初心者はゲーム感覚で入りやすい
小さな6路盤からはじめてみては



ダイヤモンド碁サロン
住 所 東京都千代田区麹町3-4-7
ビルディング4階
地下鉄有楽町線麹町駅
(3番出口直結)
営業時間 13:00 ~ 22:00
定休日 土・日曜日・祝祭日
電話/FAX 03-3263-0620
<http://www.dis15.com/>